

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責:西村 宗二郎

Vol. 24 2026. 1. 16

みなさんこんにちは。当院のDMAT隊員8名が2隊に別れ、令和7年10月25日に開催された「令和7年度 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・奈良県防災総合訓練」に参加しました。まずは飛鳥駅での広域医療搬送訓練を行ったチームより報告させていただきます。

訓練内容

令和7年10月25日(土)9時00分、中央構造線断層帯を震源とする大規模地震が発生し、広陵町および高取町で最大震度6強を観測したという想定で訓練を実施しました。明日香市役所を「被災した医療機関」と想定し、そこから自衛隊車両により傷病者が飛鳥駅へ搬送されました。飛鳥駅では、傷病者を重症度に応じて赤・黄・緑の各エリアに分類しました。当院は他施設DMATと混成チームを組み、赤・緑エリアを担当しました。到着した傷病者に対して医師が診察を行い、初期治療を実施しました。その後、近鉄の協力により実際の鉄道車両を使用した搬送訓練を行いました。鉄道搬送を実施できる訓練は全国的にも限られており、災害時の広域医療搬送の流れを具体的に確認できる貴重な機会となりました。小雨の場面もあり、屋外での初期治療や搬送の難しさを実感しました。今回の訓練を通じ、多職種との連携や情報共有の重要性を再認識する機会となりました。

自衛隊・地元消防団と協力して搬送

今回の搬送手段は電車
電車を利用した訓練は
全国で2例目!?



ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階MACHIcafe右横の電話コーナー、各デイルームに設置しています。)